

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	あぶくまがわ 阿武隈川森林計画区 (福島県)		事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署												
完了後経過年数	5年		管理主体	関東森林管理局 福島森林管理署白河支署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、阿武隈川森林計画区に属する92千haの国有林野のうち、福島森林管理署白河支署が所管する34千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、福島県の中央部の「中通り」に位置し、東は磐城森林計画区、西は会津森林計画区、南は奥久慈森林計画区に接しており、白河支署はその南部の国有林を所管している。</p> <p>当支署管内の国有林については、太平洋植生域から日本海植生域へ移行する地域まで広範な森林形態を有するものであり、阿武隈地域南部と奥羽山脈地域に大別される。気候、地況、土壌等の自然条件に恵まれた地域を中心に、スギ・アカマツを主とした人工林化が進んでおり、管内の人工林率は56%に達している。</p> <p>従来から、当計画区の森林は、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、地域住民の生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>具体的には、多面的機能を発揮するための基盤となる森林資源を整備するため、更新（地拵、植付）及び保育（下刈、つる切、除伐、保育間伐）等を実施するとともに、森林施業の効率的な実施に必要な路網整備（林道等の開設及び改良）を実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>356ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,455ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,200,585千円</p>				森林整備	更新面積	356ha		保育面積	3,455ha	路網整備	開設延長	2.8km		改良延長	2.5km
森林整備	更新面積	356ha														
	保育面積	3,455ha														
路網整備	開設延長	2.8km														
	改良延長	2.5km														
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>9,616,376千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,697,041千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,585,031千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>2,227,073千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>3.72</td> <td>(事業採択時</td> <td>2.11)</td> </tr> </table>				総便益(B)	9,616,376千円	(事業採択時	4,697,041千円)	総費用(C)	2,585,031千円	(事業採択時	2,227,073千円)	分析結果(B/C)	3.72	(事業採択時	2.11)
総便益(B)	9,616,376千円	(事業採択時	4,697,041千円)													
総費用(C)	2,585,031千円	(事業採択時	2,227,073千円)													
分析結果(B/C)	3.72	(事業採択時	2.11)													
② 事業効果の発現	阿武隈地域南部の古殿町横川・大原地区、白河市の表郷地区はスギを主体と															

<p>状況</p>	<p>した人工林地帯で、保育等を実行した結果、森林資源の質向上と水土保全機能等の向上が図られた。また、利用期に達した林分の主伐実施箇所において、再造林を実施することで森林の若返りを行った。</p> <p>なお、主間伐等の森林施業により発生する材については、可能な限り搬出して原木の安定供給に努め、地域林業の振興に貢献している。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>林業専用道の開設及び改良により、森林整備が推進された。これらの基盤施設が適切に整備されたことで、高性能林業機械の導入が図られ、作業効率の向上、事業コストの縮減がもたらされるとともに、労働安全の確保にも貢献した。</p> <p>なお、整備された路網は、白河支署において良好に維持、管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により、良好な森林が形成され、森林の持つ木材生産機能や水源の涵養、山地災害の防止、二酸化炭素吸収などの公益的機能が発揮されている。周囲の森林と調和した適切な森林施業は、自然公園等における良好な景観の形成に役立っており、自然探勝やレクリエーションの場の提供を通じ、地域における保健・文化機能の充実に貢献した。</p> <p>また、奥羽山脈地域に設定され支署管内の国有林の約半分の面積を占める「日光吾妻山地緑の回廊」においては、適切な森林管理により野生生物の移動経路の確保に努めており、森林生態系の保全にも貢献している。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震と東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未曾有の被害をもたらし、林業経済にも影響を与えた。</p> <p>森林・林業・木材産業の生産基盤の早期復興を図るため、県・市町村が計画する「ふくしま森林再生事業」とそれに連携した「国有林野事業における放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業」に取り組んでおり、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進するとともに地域の生活基盤の復興に寄与することとしている。</p> <p>また、これらの対策と合わせた適正な森林整備の推進に加え、国有林材の安定供給体制の構築や、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利活用等を通じて木材需要の創出を図るとともに、木材の伐採・搬出にあたっては放射性物質が移行した表土流出防止の対策を講じるなどし、地域の生活基盤の復興に資するための最大限の配慮を行うこととする。</p> <p>なお、国有林から産出される素材についても、平成26年12月17日に福島県から発出された「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針」の内容に準拠した対応を取ることとする。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p> <p>地元の意見：</p>	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、今後も適期に森林整備（更新及び保育）を実行するとともに、事業の実施にあたっては作業効率の向上とコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>森林資源は人工林を中心に本格的な利用が可能な段階に入りつつあり、地域の木材需要に応えるためにも、これまでの間伐を中心とした森林整備から、齢級構成の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>また、「緑の雇用」事業などにより若齢層では改善の兆しが見られるものの、林産業就労者の確保は今後とも重要な課題であり、当該事業の実行を通じて、林業事業者の育成や地域経済への貢献に資することが求められている。</p> <p>ふくしまけん （福島県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られている。 しらかわし （白河市） ・当該事業の実施により森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたもの

	<p>と評価する。</p> <p>また、本事業は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後も事業の推進を期待する。</p> <p>(須賀川市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する公益的機能の増進を図るため、さらには、森林の健全性を確保するため有効な事業であったと評価する。 <p>今後も適切な造林、保育及び間伐等を推進していただきたい。</p> <p>(古殿町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元林業事業体の育成並びに若い人材の確保を考慮した発注・事業実行に努めていただきたい。 <p>(天栄村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路網整備事業により羽鳥作業道が開設されたことは、作業効率の確保や事業コストの削減が図られ、一定の効果があったものとする。森林整備においても、適正な維持管理等が促進されることを期待する。
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果（案）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。 ・効率性： 事業の実施に当たっては、現地の状況に応じた工種及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 林業地域だけでなく森林生態系を重視するエリアも管理していることから、森林整備と路網整備をバランスよく実施したことにより、水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進や林産物の安定供給が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：福島県

施行箇所：阿武隈川森林計画区(福島森林管理署白河支署)

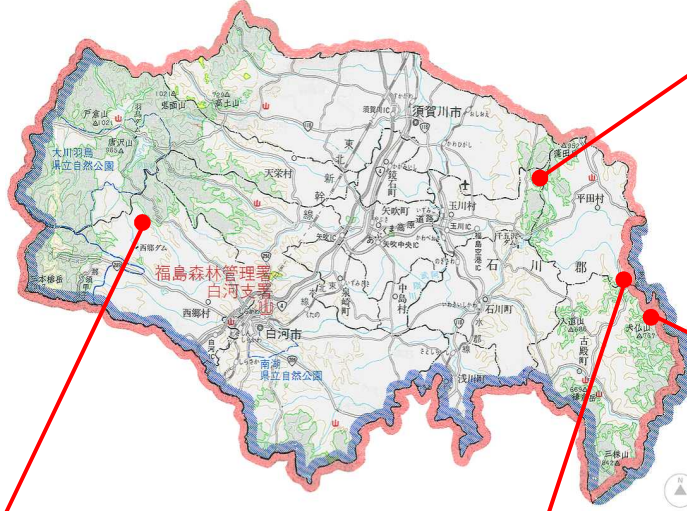
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,819,669	
	流域貯水便益	561,674	
	水質浄化便益	1,252,372	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,065,227	
環境保全便益	炭素固定便益	1,131,360	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	173,734	
	木材生産確保・増進便益	1,543,501	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	1,203	
	森林整備促進便益	67,636	
総 便 益 (B)		9,616,376	
総 費 用 (C)		2,585,031	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{9,616,376}{2,585,031} = 3.72$		

森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画区(福島県・福島森林管理署白河支署管内)事業概要図



<福島森林管理署白河支署管内図>



保育間伐
(石川郡石川町)



地拵、植付
(石川郡古殿町)



路網整備
(西白河郡西郷村)



高性能林業機械の導入による作業効率の向上
(石川郡平田村)